

夏山登山コース

●所要時間:約4時間35分

大山自然歴史館=10分=夏山登山口=登り40分・下り25分=三合目=登り40分・下り25分=行者谷別れ=登り15分・下り10分=六合目=登り30分・下り20分=八合目=登り30分・下り20分=頂上

※大山自然歴史館～行者谷別れ別コース

大山自然歴史館=登り50分・下り40分=元谷堰堤=登り50分・下り30分=行者谷別れ(行者谷コース)

ユートピアコース

●所要時間:約5時間25分

大山自然歴史館=登り30分・下り25分=大神山神社=登り45分・下り30分=下宝珠越=登り30分・下り20分=中宝珠越=登り30分・下り20分=上宝珠越=登り40分・下り30分=ユートピア小屋=登り15分・下り10分=三鈷峰

※大山自然歴史館～下宝珠越別コース

大山自然歴史館=登り15分・下り10分=中の原スキー場=登り50分・下り40分=宝珠山=15分=下宝珠越

登山者の皆さんへお願い

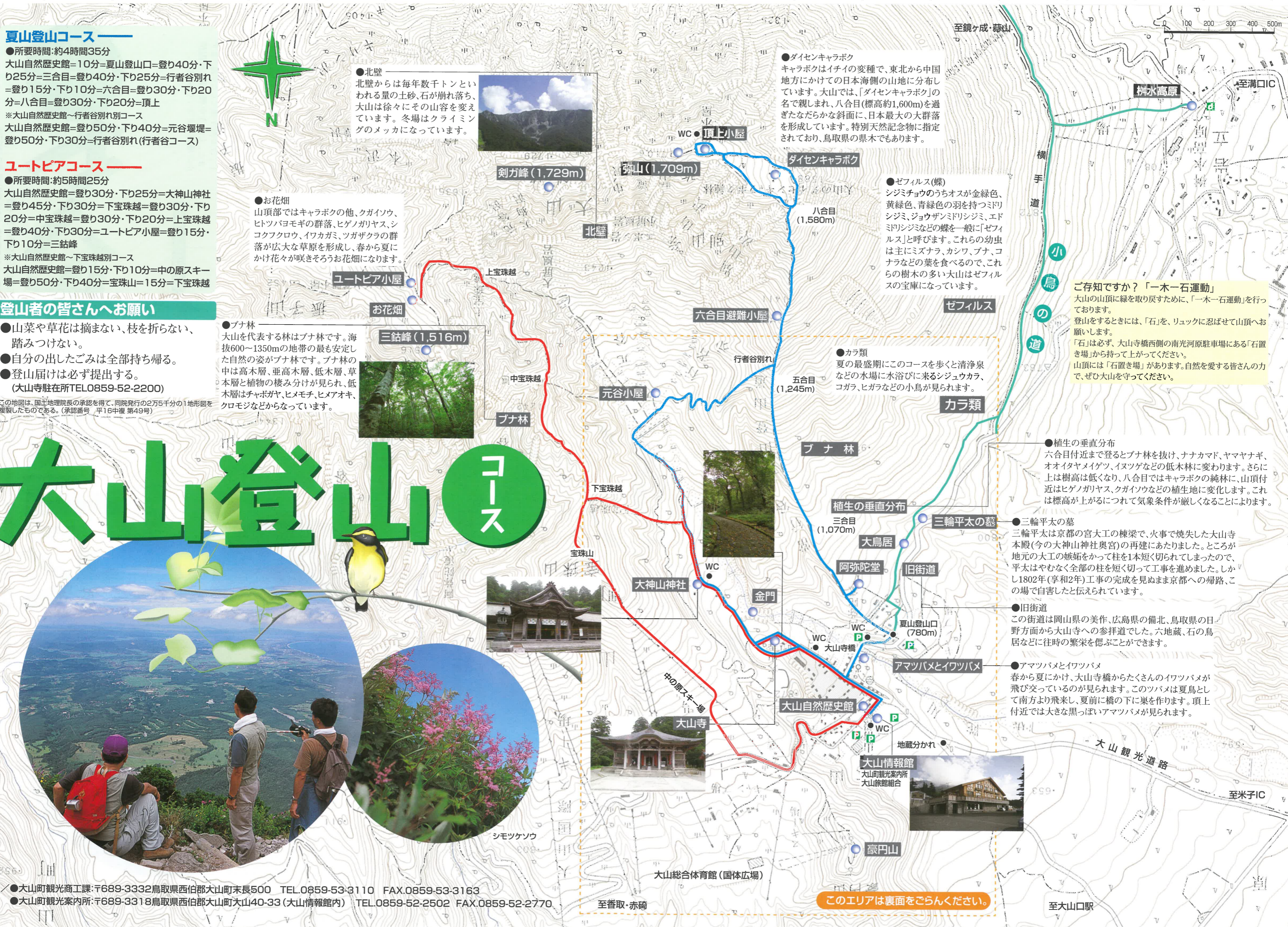
- 山菜や草花は摘まない、枝を折らない、踏みつけない。
- 自分の出したごみは全部持ち帰る。
- 登山届けは必ず提出する。
(大山寺駐在所TEL0859-52-2200)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平16中復 第49号)

大山登山コース



問●大山町観光商工課:〒689-3332鳥取県西伯郡大山町末長500 TEL.0859-53-3110 FAX.0859-53-3163
●大山町観光案内所:〒689-3318鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館内) TEL.0859-52-2502 FAX.0859-52-2770



●北壁
北壁からは毎年数千トンといわれる量の土砂、石が崩れ落ち、大山は徐々にその山容を変えています。冬場はクライミングのメッカになっています。



●お花畑
山頂部ではキャラボクの他、クガイソウ、ヒツリバヨモギの群落、ヒゲノガリヤス、シコクフクロウ、イワカガミ、ツガザクラの群落が広大な草原を形成し、春から夏にかけて花々が咲きそろうお花畑になります。



●ブナ林
大山を代表する林はブナ林です。海拔600～1350mの地帯の最も安定した自然の姿がブナ林です。ブナ林の中は高木層、亜高木層、低木層、草本層と植物の棲み分けが見られ、低木層はチャボガヤ、ヒメモチ、ヒメアオキ、クロモジなどからなっています。



●ダイセンキャラボク
キャラボクはイチイの変種で、東北から中国地方にかけての日本海側の山地に分布しています。大山では、「ダイセンキャラボク」の名で親しまれ、八合目(標高約1,600m)を過ぎたなだらかな斜面に、日本最大の大群落を形成しています。特別天然記念物に指定されており、鳥取県の県木でもあります。

●ゼフィルス(蝶)
シジミチョウのうちオスが金緑色、黄緑色、青緑色の羽を持つミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ、エドミドリシジミなどの蝶を一般に「ゼフィルス」と呼びます。これらの幼虫は主にミズナラ、カシワ、ブナ、コナラなどの葉を食べるので、これらの樹木の多い大山はゼフィルスの宝庫になっています。

●カラ類
夏の最盛期にこのコースを歩くと清浄泉などの水場に水浴びに来るシジュウカラ、コガラ、ヒガラなどの小鳥が見られます。



ご存知ですか? 「一木一石運動」
大山の山頂に緑を取り戻すために、「一木一石運動」を行っております。登山をするときには、「石」を、リュックに忍ばせて山頂へお願いします。「石」は必ず、大山寺橋西側の南光河原駐車場にある「石置き場」から持って上がってください。山頂には「石置き場」があります。自然を愛する皆さんの力で、ぜひ大山を守ってください。

●植生の垂直分布
六合目付近まで登るとブナ林を抜け、ナナカマド、ヤマヤナギ、オオイヤメイト、イヌツゲなどの低木林に変わります。さらには樹高は低くなり、八合目ではキャラボクの純林に、山頂付近はヒゲノガリヤス、クガイソウなどの植生地に変化します。これは標高が上がるにつれて気象条件が厳しくなることによります。

●三輪平太の墓
三輪平太は京都の宮大工の棟梁で、火事で焼失した大山寺本殿(今の大神山神社奥宮)の再建にあたりました。ところが地元の大工の嫉妬をかけて柱を1本短く切られてしまったので、平太はやむなく全部の柱を短く切って工事を進めました。しかし1802年(享和2年)工事の完成を見ぬまま京都への帰路、この場で自害したと伝えられています。

●旧街道
この街道は岡山県の美作、広島県の備北、鳥取県の日野方面から大山寺への参拝道でした。六地藏、石の鳥居などに往時の繁栄を偲ぶことができます。

●アマツバメとイワツバメ
春から夏にかけて、大山寺橋からたくさんのイワツバメが飛び交っているのが見られます。このツバメは夏鳥として南方より飛来し、夏前に橋の下に巣を作ります。頂上付近では大きな黒っぽいアマツバメが見られます。



このエリアは裏面をごらんください。

0 100 200 300 400 500m



元谷散策コース ———
 ●所要時間:約1時間55分
 大山自然歴史館=登り30分・下り25分=大神山神社=30分=元谷

寂靜山・豪円山コース ———
 ●所要時間:約2時間
 大山自然歴史館=15分=大神山神社鳥居=5分=探勝歩道分岐(=10分=大神山神社)=登り20分・下り15分=寂靜山=登り30分・下り25分=車道合流点=登り20分・下り15分=豪円山=20分=大山自然歴史館

阿弥陀堂史跡探勝コース ———
 ●所要時間:約1時間25分
 大山自然歴史館=15分=蓮淨院=15分=阿弥陀堂=10分=利生水=30分=大山寺本堂=登り20分・下り15分=大山自然歴史館

●元谷
北壁から落ちてきた土砂がたまり、広大な川原状となっています。ハイキングコースの中には一番山ふところ深い地点で、北壁が屏風のように広がります。登山でなければここで折り返しとなります。

●風穴
山の斜面を降りてくる冷気を利用した冷蔵庫で、明治以降は降り積もった雪をこの中に詰めて水をつくったり蜜の卵を貯蔵しておき、それらを米子方面へ売っていたと言われています。

●大神山神社奥宮
元は大山の神である大智明権現を祭っていたが、明治初期の神仏分離によって現在の祭神は大己貴命(おおなむねのみこと)です。檜皮葺きの拝殿と本殿を穿殿が結ぶ権現造りで、拝殿の左右には長廊があります。いずれも文化2年に再建されたもので、国の重要文化財になっています。

●本坊西薬院跡
大山寺は慶長年間以来鳥取藩の中で一種の治外法権的な地域をなしていました。この大山寺領を治めた役所が本坊西薬院で、大きな石垣と石階段が残る往時の壮大な建物が残っています。

●大山寺
養老年間(717~724年)金蓮上人が地藏菩薩を祀って開基となり、貞観7年(865年)に慈覚大師の法統を受けて天台宗となって以降、中世には180の僧坊と3,000の宗徒を擁する大寺院として賑わったと言われています。

●お里の松跡
その昔、お里という娘が自殺したという悲しい言い伝えのある松の太木がありましたが、借しくも近年枯れてしまいました。あまり知られていませんが、樹間に北壁を望む最高の眺望ポイントです。

●僧兵の墓
僧兵武練の地や、金門付近で日夜修行に励んでいた僧兵は、大山寺の寺領の拡大と共に、自衛のために出陣しました。後醍醐天皇の隠岐脱出に際しても活躍したと伝えられています。

●寂靜山(じゃくじょうざん)
標高868.5mの大山北壁を眺めるのには絶好のビューポイントです。大山寺を囲んだ金蓮上人の入寂の地と伝えられています。

●金門
佐蛇川の峡谷部・金門はかつてはもともと狭い谷で、大山寺への参道として使われていました。参道の幅を広げた直後の大水で金門は流路となりました。ここから大山北壁の眺めは見事です。

●風穴
山の斜面を降りてくる冷気を利用した冷蔵庫で、明治以降は降り積もった雪をこの中に詰めて水をつくったり蜜の卵を貯蔵しておき、それらを米子方面へ売っていたと言われています。

●阿弥陀堂(あみだどう)

大山寺に現存する寺院の中では最古の建築物で、平安初期に創建、藤原期に建立されました。しかし享禄2年(1529年)に山津波で倒壊し、天文21年(1552)に現在の場所に再建されました。本尊は、仏師・良円の作といわれる丈六(2.79メートル)の阿弥陀如来で、その両脇には、観音と勢至の両菩薩を安置しています。建物、仏像とも国の重要文化財に指定されています。

●右下がりの石段
雨の日の道に水が溜まらないうように道の北側を高く、右側に水が流れるように段が斜めに切られています。

●利生水
昔から髪の毛が痛んでいる女性はこの水をくんで髪の毛につけると、美しくなるといわれる不思議な水。

●蓮淨院(れんじょういん)
もとは南光院谷に属する寺院で、一時は大山でも数少ない宿坊として人々に親しまれていました。大正3年に文豪・志賀直哉がここに宿泊し、大山登山をしています。その時の体験は、小説「暗夜行路」に描写されています。

●至米子IC

●大山情報館 (財)自然公園財団事務所 TEL/0859-52-2165)
国立公園大山の観光拠点として平成15年11月オープン。1階部分は(財)自然公園財団の事務所、定期バスや冬季間のシャトルバスの待合室、2階には大山町観光案内所(大山町観光協会)、情報提供機能を持った休憩室があります。全館バリアフリー対応、2階はお湯を常備した授乳室、1階には自由に利用可能な更衣室を備え、壁材には大山町産の赤松、外壁には大山の安山岩を使い、電力の一部は太陽光発電でまかなうなど地元材の使用や環境への配慮などもされています。年中無休。

●至大山口駅

●豪円山
大山北壁の全谷がくっきり見えます。振り向けばふもとの樹海を越えて日本海が果てしなく続きます。また、大山寺中興の祖、豪円僧正の地蔵がまつつてあります。



至香取赤崎

鳥栖左摩明王

翼の河原から見る北壁

この地図は、国土地理院基の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平16中環 第49号)

大山川行キタマ



好展望地

問/ ●大山町観光工課:〒689-3332鳥取県西伯郡大山町末長500 TEL.0859-53-3110 FAX.0859-53-3163
 ●大山町観光案内所:〒689-3318鳥取県西伯郡大山町大山40-33 (大山情報館内) TEL.0859-52-2502 FAX.0859-52-2770